熊谷市立大麻生中学校 令和2年10月号外

学校だより

◎学校教育目標◎

誇れる郷土大麻生に学ぶ 埼玉県一の中学生

◎目指す生徒像◎

・自ら学ぶ生徒
・思いやりのある生徒
・たくましい生徒

「令和2年度全国学力・学習状況調査」結果の考察 －10月15日 前期終業式にて－

7月21日(火)に行った３年生「全国学力・学習状況調査」の採点結果と個票を、夏休み明けにお返しいたしました。今年度の「全国学力・学習状況調査」は、新型コロナウィルス感染症の影響で全国一律にはおこないませんでしたが、熊谷市では、夏休みの前に全小・中学校で実施されました。そのため、今年度は全国との比較はできませんが、今年度の本校３年生徒の傾向と分析をまとめました。今年度の調査は、中学校３年生を対象に中学校2年生までの内容を「国語」「数学」「生徒質問紙」でおこないました。

今年度の傾向は、次の通りでした。

○国語…平均正答率は82.7%、各問題の正答率は100～60.4%でした。領域毎に見ると、「話すこと聞くこと89%」「書くこと60%」「読むこと71%」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項88%」でした。
○数学…平均正答率は61.0%、各問題の正答率は92～29%でした。領域毎に見ると、「数と式68%」「図形56%」「関数56%」「資料の活用64%」でした。

◎各教科の正答率が低かった問題を紹介します。

【国語】で正答率が低かった問題

今年度は、一番正答率が低い問題でも60.4%と良好な結果でした。今年は、2年ぶりに漢字の読みが出題されました。また、古文の現代仮名遣いの問題も紹介します。

④－一　文脈に即して漢字を正しく読む【正答率①98% ②96% ③98%】

次の＿＿線部①から③までの漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

それは、寒い日でありました。指のさきも、鼻の頭も、赤くなるような寒い日でありました。吉雄は、いつものように、朝早くから起きました。「お母さん、寒い日ですね。」とごあいさつをして①震えていました。「火鉢に、火がとってあるから、おあたんなさい。」と、お母さんは、もう、朝のご飯の②支度をしながらいわれました。吉雄は、火鉢の前にいって、すわって手を暖めました。家の外には、風が③吹いていました。　（小川未明「ある日の先生と子供」による。）

答，① ふる　② したく　③ ふ

④－二　歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む【正答率①94% ②94%】

次の＿＿線部①と＿＿線部②をそれぞれ現代仮名遣いに直し、全てひらがなでていねいに書きなさい。

宗助は先刻から縁側へ坐蒲団を持ち出して日当りの①よささうな所へ気楽に胡坐をかいて見たが、やがて手に持って②ゐる雑誌を放り出すと共に、ごろりと横になった。　（夏目漱石「門」による。）

答，① よさそうな　② いる

【数学】で正答率が低かった問題

⑧－(1)　範囲の意味を理解している【正答率29%】

(1)啓太さんは、待ち時間について調べたことを、次のようにまとめました。来院者によって待ち時間が違うため、待ち時間の散らばりの程度を考えます。**待ち時間について調べたこと**をもとに、待ち時間の**範囲**を求めなさい。

待ち時間について調べたこと

	平均値	中央値	最頻値	最大値	最小値
待ち時間(分)	70.2	58	25	164	3

【範囲とは！】数学での範囲とは分布の範囲をさし、資料の最大の値から最小の値を引いた値のこと。

(範囲)＝(最大値)－(最小値)＝１６４－３＝１６１

答，待ち時間の範囲は１６１

⑦－(3)　付加された条件の下、新たな事柄を見いだし、説明することができる【正答率40%】

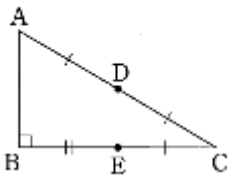
紙を三角形の形に切ります。その三角形を△ＡＢＣとするとき、次の**手順**で四角形をつくることができます。

① 辺ＡＣの中点に点Ｄをとる。
② 辺ＢＣ上に点Ｅをとる。ただし、点Ｅは点Ｂ、Ｃと重ならないものとする。
③ 点Ｄと点Ｅを結んでできた線分ＤＥにそって切る。
④ △ＤＥＣを点Ｄを回転の中心として反時計回りに180°回転移動させる。

点Ｄは、辺ＡＣの中点だから、ＡＤとＣＤの長さは等しいので、ＡＤとＣＤはぴったり重なります。△ＤＥＣを、点Ｄを回転の中心として反時計回りに180°回転移動させた三角形を△ＤＦＡとすると、∠ＡＤＥと∠ＡＤＦの和は180°なので、点Ｅ、Ｄ、Ｆは一直線上にあります。これらのことから、上の**手順**により、四角形ＡＢＥＦができることがわかります。芽依さんは、四角形ＡＢＥＦがどんな四角形になるかを考えることにしました。

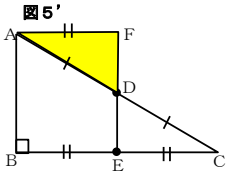
⑶右の図５のように、１２ページの図１の△ＡＢＣを、∠Ｂの大きさが９０°である三角形に変え、点Ｅを辺ＢＣの中点としたとき、△ＡＢＣからできる四角形ＡＢＥＦがどんな四角形になるかを考えます。このとき、四角形ＡＢＥＦは平行四辺形の特別な形になります。△ＡＢＣにおいて、∠Ｂの大きさが90°で、点Ｅが辺ＢＣの中点ならば、四角形ＡＢＥＦはどんな四角形になりますか。「～～ならば、……になる。」という形で書きなさい。

図５



答，△ＡＢＣにおいて∠Ｂの大きさが90°で点Ｅが辺ＢＣの中点ならば、四角形ＡＢＦＥは長方形になる。　【多かった誤答】 正方形、４つの角が等しい四角形

図５'



④　一次関数の表から変化の割合を求めることができる【正答率46%】

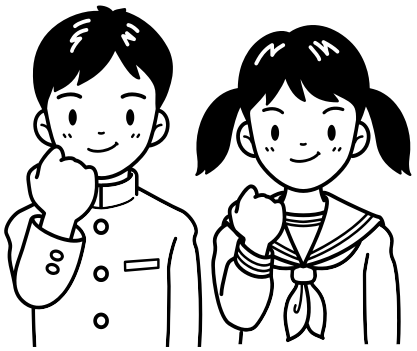
ｙはｘの一次関数で、ｘ＝１のときｙ＝９、ｘ＝３のときｙ＝１７です。このことから、ｘの増加量が２のときのｙの増加量が８であることがわかります。この一次関数の変化の割合を求めなさい。

【変化の割合とは！】変化の割合とは、「ｘの増加量に対するｙの増加量」のこと。特に一次関数は変化の割合が一定であるので、ｘの増加量が２のときのｙの増加量が８であることから、８÷２＝４

答，変化の割合は４

○生徒質問紙のアンケート結果について○

「生徒質問紙」には、７１項目の質問がありました。例年と比較して、良かった項目を紹介します。



○ 朝食を毎日食べている
○ 毎日、同じくらいの時刻に起きている
○ 家の人(兄弟姉妹は含みません。)と学校での出来事について話をする
○ 家の人(兄弟姉妹は含みません。)と進路などの将来のことについて話すことがある
○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれている
○ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
○ 学校での規則を守っている
○ 人が困っているときは、進んで助けている
○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
○ 人の役に立つ人間になりたいと思う
○ 家で自分で計画を立てて勉強をしている
○ 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、１日当たりどれくらいの時間、勉強をするか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)
○ 今住んでいる地域の行事に参加している
○ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う
○ 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う
○ 授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う
○ 授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかり伝えていたと思う
○ 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている
○ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる
○ 国語の勉強は好きだ　……

○まとめ○

３年生一人一人にとって、それぞれ違った課題があることと思います。けれども、今回の調査を3年生の学年全体として見ると、国語については、生徒の興味・関心は高く、普段の成果を十分に発揮できたようです。数学については、本校の平均が市全体の平均を上回り、結果、合計で市内でも素晴らしい結果となりました。3年生の「生徒質問紙のアンケート結果」を見ると、学習や生活への意欲は高く、日々前向きに取り組んできたことが今回の成果に結びついたようです。

１･２年生も3年生を手本として、これから学校生活の目標にしてください。まとめとして、全校の皆さんで、次のことに取り組んでいきましょう。

○学習での心構え

① 課題の解決に向けて、まずは自分で考え自分から取り組む。
② 生徒どうしで聞き合い学び合う活動を通して、自分の考えをさらに深めたり広げたりする。
③ 積極的に自分が発表する機会を生かし、自分の考えを正確に相手に伝えることができるようにする。
④ 家庭学習に計画的に取り組む

○生活での心構え

○ 3点固定を中心とした規則正しい生活習慣づくりとより良い人間関係づくりを大切にする。
○「当たり前のことを当たり前にできる」ようにする。